

第2回 研究授業記録

9月25日(金)
赤坂中学校

- 日時 9月25日(金) 6校時
- 場所 赤坂中学校 英語教室
- 授業者 北原延晃 主任教諭
- 内容 英語 2年(北原コース)研究授業



研究協議会から

in 赤坂中学校
社会科室

◇ 授業者自評

- ・私の授業はパターン(授業の型)が決まっている。主に2パターンある。
 Aパターン ⇒ 教科書左側 speaking **B**パターン ⇒ 教科書右側 reading, writing
- ・生徒たちはいつもやることがわかっている状態である。
- ・最も大事にしていることは、① 理論 ② データ ③ 生徒目線

◇ 協議会で話題になったこと

- ・単語を発音する際にジェスチャーをつけていたので良かった。
- ・授業のテンポが良いので、生徒を飽きさせない。
- ・NTに任せきりになってしまいがちだが、中学校につながる国際科の授業をしていきたい。
- ・先生が楽しく授業していて、授業の基本というものを感じた。
- ・英語で話す[聴く]時間が長いので、感覚が鋭くなる。日本語に頼らず、伝えるということの大切さを実感できた。
- ・生徒はやることの内容がわかっていて、安心して授業に取り組んでいる。そのため挙手をする生徒が多い。
- ・1年生の最初から毎回同じ指示を出していて、それが定着しているので、子供たちは次にやる内容がわかり、学習の準備を行いやすい。
- ・先生と子供たちのアイコンタクトができている。

◇ 講演

講師：文部科学省教科調査官 直山木綿子 先生

- ・生徒を前からじっと見ていて、気になった生徒が4人いた。北原先生がその4人にどうアプローチするのか楽しみだった。
- ・教師は生徒に教え与える、何でも教えてやりたいと思う⇒それは奢りである。
- ・教師が答えを教えるのは簡単。答えを教えるのが目的ではない。なぜ間違えたのか、どこが違うのか徹底的に考えさせることが大事。



次回 アカデミー研究保育のお知らせ

5歳児を中心に研究保育を行います。9:00~14:00
まで全学年の保育を公開します。

日程：平成27年11月27日(金)

時程：14:00~14:40 5歳児公開保育

会場：中之町幼稚園

14:50~15:00 ビデオ上映

15:10~16:15 研究協議(保育者自評・協議・質疑応答)